



われわれは奉仕する

We Serve

1987～'88

333-C地区ニュース

Vol.6 No. 2



10・8 ライオンズデーで汗を流す手塚ガバナー

地区ACTスローガン

愛と奉仕で平和な世界

ガバナースローガン

クラブの活性化
与える奉仕から育てる奉仕へ
会員の質的向上と退会防止
婦人の力を社会奉仕へ
思いやりのある青少年の育成

目 次

| | |
|----------------------|-------|
| 333-C地区憲章 | 2 |
| ガバナーズレター | 3 |
| 「希望の町」とアガベハウス L吉原稔人 | 4 |
| 幹事報告 | 5 |
| ガバナー公式訪問随行記 | 6 |
| アクティビティー・アルバム | 9～14 |
| 新クラブ結成……長柄LC | 15 |
| チャーターナイト……関宿LC | 15 |
| 関連行事レポート……茂原長生LC | 16 |
| 年次大会事務局開設・事員職員プロフィール | 16 |
| YE来日学生だより | 17～27 |
| レオ・ライオネス | 28 |
| ライオン紹介……L常世田耕作 | 30 |
| 複合地区だより | 31 |

333-C地区ライオンズ憲章

われわれは、ライオンズクラブ草創の原点にたちかえり、その崇高な精神を信奉し、会員である誇りと自覚をもって、ライオニズム永遠の発展に寄与するため、会員の総意を結集し、ここに地区ライオンズ憲章を制定して、その理想実現に邁進するものである。

1. 単位クラブの尊厳と自主性を尊重しよう。
2. 奉仕の根源は愛であることを確認し心をこめて精進しよう。
3. 友情によって相互理解と強固な団結をはかろう。
4. 組織の簡素合理化と経費の節減につとめよう。
5. グッドスタンディングとは積極的参加の意欲であることを理解し指導力の開発にはげもう。

ガバナー公式訪問を 終って.....

ライオンズクラブ国際協会

333～C 地区

地区ガバナー

手塚 勇

キャビネットのモットーに「親切・公平・迅速・正確」を掲げ、特に全クラブ公平に扱うことを念頭にガバナー公式訪問に出発しました。各クラブを公平にという事から、クラブの内容に精通しなければならないので、公式訪問質問回答書・年間計画・マンスリーレポート・予算書等を具さに検討し、各クラブ毎にノートに抜萃して整理し、疑問点をチェックして準備万端とのえて訪問しました。

各ゾーン共、ゾーンチェアマンの計らいで、ガバナーとクラブ三役との打合せ会（懇談会）を設定して下さったので、大変有意義に過ごすことが出来感謝致します。各クラブ会長さんと1対1で細部に亘って質疑応答を行い、各クラブの全般に精通とはいいかないが、大略の内容を把握出来たものと思います。

これらの貴重な体験をもとに感じた事を綴ってみます。
1.会員の質的向上と退会防止について

(1)奉仕への情熱

ライオンズの質とは何か、それは先ず「奉仕への情熱」であると思う。私達は戦後の混乱期を抜けて、経済成長期を迎える、神武景気などと有頂天になっている内に、私達は「奉仕への情熱」を忘れていた。奉仕への情熱のない者は、メンバーとして失格である。奉仕への情熱を高めるにはどうしたらよいか。先ず「奉仕することこそ生きる証しであること」を自覚することです。

生きるということは、誰かに借りをつくること、生きていくということはその借りを返して行くこと誰かに借りたら、誰かに返そう。人は1人では生きては行けない、誰も1人では歩いて行けない。（永六輔）。それはライオニズムを知るということです。次に奉仕する喜びと感動を知ることです。

私達はLCに対して、限りない魅力と誇りをもち、社会に奉仕することに無上の生き甲斐を感じる時、その喜びと感動を1人でも多くの人と分かち合いたいと思うのは当然です。それが会員増強に繋がるものだと思います。

(2)質的向上—知性—公徳心

会員の質的向上ですが、これには入会時に問題があると思います。あの人の推せんだから、とか、あの人の推せんを断れないだろう、などと安易に入会させる傾向はないだろうか。その人の入会によって数名の退会者を出すという例も聞いたことがある。

ライオンズの質は「知性」です。知性を高める事

は、私達の奉仕の質を規定します。知性のない所に良質の奉仕は考えられない。知性を高めるために、あらゆる努力をすべきです。

次に重要なことは「公徳心」です。

善良な徳性の持ち主、であることと、地域社会において声望のあること、がライオンズ会員の資格です。

(クラブ会則3条A) 地域社会からひんしゅくを買う行動や、会員がライオンズへの評価を不当に低めています。私たちは公民の義務を忘れない、「よい公民」であり、公徳心の向上に積極的関心を示し、道徳水準を更に高め、自己の立場を不当に利用したり、人に疑われる行いをしてまでも利益や成功を求める事、を信条としているのであり、これを守る人々の集まりであるからこそ、ライオンズは地域の人々から高い評価を受けているのです。

(3)リーダーシップと退会防止

クラブの運営がはつらつとして活気に満ち溢れていれば、自ら出席率も向上し、退会者も少い筈です。会員の退会防止は今最も重要な課題です。

そこで、全メンバーが活動に参加し、各々の部署でリーダーシップを發揮し、責任処理をする事が、とりわけ大切です。私たちが目指すリーダーシップとは、次の3つです。

(イ)クラブの運営や活動に協力的であり、会員仲間とチームワークを保てること。

(ロ)自己の役割・立場を心得て、自分に与えられた任務を、責任をもって完遂すること。

(ハ)任務の内容や遂行方法について、会員仲間に十分説明し指導できること。

クラブをあげて、全会員がこの目標に取り組むことが指導力開発です。

(4)新入会員の教育の充実

新入会員はクラブにとって新鮮な血液であり「明日のリーダー」です。明日のリーダーの育たない団体に発展はありません。内容のある新会員のミーティング、感銘深い入会式、例会毎に先輩会員と共に積極的行事参加等を通じ、ライオニズムの意義・歴史組織・用語・プログラム等について、充分な知識を得させると共に、明確な活動方針を与えることが大切です。今年度は、Z又はR単位で充分な研修会の実施を特にお願いいたします。

地区内を公式訪問して、新会員のミーティングを单一クラブで実施しているクラブは、全体の3分の1程度と推測いたします。

どうぞ各クラブ共会員の増強と退会防止に格段のご協力を願いいたします。

つづく

LCIF 経由の国際奉仕活動を考える……



「希望の町」と「アカペハウス」

元地区ガバナー L 吉原 稔人

日本ライオンズ無くして…

LCIFにとって、今や日本ライオンズの献金額は、その維持、発展のために欠かせない大きな支柱となっていることは間違いない。LCIFへの年間総献金額に対する日本の比率は、刻々変動する円ドル換算率に左右されるので正確に把握することは困難である。しかし概算すると、会員数では全世界の約11%に過ぎない日本の献金は、LCIF年間総献金額の約1/3を占める。しかも、日本の献金の際立った特徴は、その殆どがLCIFにとって誠にありがたい無指定献金であることで、用途指定献金は、ここ2年間を見ても僅か5%前後に過ぎない。全世界の用途指定献金の比率は、30%弱である。1/3を占める日本の低い比率を入れて30%弱であるから、その他の地域での用途指定献金の比は、40%を越えると想定される。

「LCIFにとって誠にありがたい」という意味は、基金の拡大を可能にするのは、無指定献金だけだからである。
ただ献金するだけでなく……

日本の用途指定献金の比率が、諸外国に比べて低い理由の一つは、やはりそこに「言葉の壁」が存在するからであろう。原則的に、用途指定献金には、献金を受ける側との交信が必要である。「国際的な交信」には「言葉の壁」が生じる。そんな面倒なことより、用途無指定でLCIFに献金した方が良い。それに用途無指定の場合は、さまざまなアワードもある。率直に言えば、これがきわめて一般的な日本ライオンズのLCIFに対する姿勢であろう。もちろん、それは決して間違った方向ではない。LCIF基金の拡大は、近い将来において大きな意味を持つに違いない。別に競い合う訳ではないが、ロータリー財団はすでに1億ドルの基金を保有している。いま私が主張したいことは、会員にLCIFをより良く理解して頂くために、ただ献金を集めるだけでなく、LCIF資金を利用してどのような奉仕活動が出来るのか、指定献金を通じて国際交流をどのように進められるのか、もっとPRすべきだということである。

国際化の波のなかで……

いま「日本」自身が、急激な国際化の波にさらされている。ライオンズもまた、同じである。日本ライオンズの国際活動は、大きく分ければ、LCIF、YE、そして外国との姉妹提携の三つに分類されるであろう。このなかで現在、一方通行に近い形のものは、LCIFだけである。つまり、献金が資金交付を大きく上回る。日本が経済大国になったから仕方がないという理由は、この場合関係ない。アメリカを経由する形をとる国際プログラム関連の資金交付を除いても、アメリカのライオンズは、かなりの額の資金交付を受けて奉仕活動を展開している。日本ライオンズは、ただ、利用しない、利用の仕方に慣れていないだけである。より直接的に「言葉の壁」に直面しているのは、誰が見てもYEである。だが、Y

Eの場合、関係スタッフの永年にわたる地道な努力によって「壁」を乗り越えている。国際プログラムに応じて、各クラブにLCIF委員会が設置されつつある今、地区サイドにも専門家集団の支援組織が必要な時であろう。長期的に見て、LCIFにおける「一方通行」の形を変えて行かなれば、必ず限界が来ると思うからである。

「希望の町」に日本庭園を

ロサンゼルスの中心より北東約40キロに位置する希望の町（シティ・オブ・ホープ）医学センターは、70年以上にわたる長い歴史を持つ研究・医療機関である。なかでも、ベックマン研究所は、がん制圧を中心に、人間の命を奪う病気を最終的に消滅させるため、未解決の先端医学に取り組んでいる。カリフォルニア・ネバダ両州からなる複合地区4の930のクラブの内、850を越えるクラブが、自主的に、そして継続的に、このがん制圧の長い闘いを支援し続けている。

この「希望の町」の集中治療センターに通じる道に植えられた15本の桜は、春、美しい日本の花を咲かせる。6年前、故村上薰の国際会長就任を祝って、地元の日系人クラブが植樹したものである。いま希望の町のジーン・マーフィー女史を中心とするスタッフと、故石橋ガバナーの時、当地区と姉妹結縁をした4L3地区のライオンズは、そこに日本庭園を建設して、「死に至る病」と闘う医師、研究者、そして患者の方々の心に安らぎを与える計画を、長期的に推進しようとしている。ライオン誌の紙面で、近々小川国際第3副会長の呼び掛けがあるとのことだが、協力して頂きたい事業の一つである。

「アカペハウスの夏 在米邦人 SOS」

去る8月21日放送された表題のNHK特集は、日本人の心に強い衝撃を与えたようである。ご覧になった方も多いと思うが、「無償の愛の家」を意味するアカペハウスは、日本生まれ、日本育ちのアメリカ人、ケン・ジョセフさんを中心とするボランティア組織で、在米、訪米の日本人のSOS—救いを求める電話に、昼夜を分かたず救援活動を続けている。全米に広がる協力者、支援者のネットワークは約2万人、年間の相談件数は1千件を越える。だが、放送を見た日本人に、耐え難いほどの恥ずかしさ、情けなさを感じさせたのは、アメリカ人のボランティア2万人に対して日本人の協力者がたったの3人という事実と、テレビに現れた日本の若者たちの見るに耐えない無知、幼稚さであった。

膨大な対日貿易赤字が、アメリカの庶民に与える理屈を越えた素朴な感情は、日本が仲間の職場を奪っているという反発であろう。最近アカペハウスへのアメリカ人の協力者が激減し始めた。そんな苦しい状況のなかで、ケンさんの「アイ・ラブ・ジャパン」のステッカーを張ったワゴン車はロスのフリーウェイを駆け巡り、なんの気負いもなく黙々と救援を続けている。私のアカペハウス取材の記事は、投稿の形でライオン誌に掲載されると思うが、国際化が求められている日本ライオンズにとって、アカペハウスへの支援もまた、重要な検討課題の一つのように思われる。

幹事報告

1987. 9. 30現在

C A B幹事 L 小川恵功

| クラブ数 | 前年比 | 会員数 | 前年比 |
|---------|-------------|-------|-------|
| L S | 8 | 3,698 | (+26) |
| LEO | 5 | 169 | (-1) |
| 金銭A C T | 61,408,912円 | 89 | (+17) |
| | | 労力 | 433件 |

行事

7. 11(水)～4(土) 国際大会 於中華民国台北市
 7. 26(日) 第一回C A B会議 於木更津市
 7. 11(土)～8. 31(月)
 Y E派遣生、受入生の成田国際空港へ
 受入生20名、派遣生42名
 8. 3(月)～5(水) Y E来日学生サマーキャンプ 於富津岬荘
 8. 17(月)～20(木) レオクラブ夏期研修会 於君津清和県民の森
 8. 23(日) 6 R 1 Z 公式訪問 於館山市ホテルシーサイド
 8. 23(日) 6 R 2 Z 公式訪問 於勝浦市ホテル三日月
 8. 29(土) 1 R 1 Z 公式訪問 於西船玉姫殿
 8. 30(日) 1 R 2 Z 公式訪問 於松戸玉姫殿
 9. 5(土) 1 R 3 Z 公式訪問 於ホテルオーパス柏
 9. 6(日) 2 R 1 Z 公式訪問 2 R 2 Z 公式訪問
 於船橋パールプラザ
 9. 13(日) 関宿L Cチャーターナイト 於関宿中央小学校
 9. 13(日) Y E派遣生帰国報告会 於千葉ペリエホール
 9. 14(月) 第2回複合地区ガバナー協議会開催
 於上野精養軒
 9. 18(金) Y E 333 複合地区委員会 於日本ライオンズ事務所
 9. 19(土) 3 R 3 Z 公式訪問 於牛久ホテルニューシーズン
 9. 20(日) 茂原長生L C 20周年式典 長柄L C結成式 於ライフピア茂原平安閣
 9. 23(水) 3 R 2 Z 公式訪問 於千葉ニューオータニホテル
 9. 24(木) 333 複合地区年次大会打合せ 於水戸グランドホテル
 9. 26(土) 4 R 1 Z 公式訪問 於犬吠崎京成ホテル
 9. 27(日) 4 R 2 Z 公式訪問 於八日市場市立公民館
 9. 30(水) Y E委員会冬期受入れについて 於千葉C A B事務局
 10. 2(金) 333 複合C 地区年次大会打合せ 於木更津オーシャン
10. 2(金) 年次大会事務局開局 於株木更津日報社2F
 住 所 木更津市潮見4-15-1
 T E L 0438-36-0342
 F A X ✕ (切替式)
 3 R 1 Z 公式訪問 四街道L C 20周年式典 於四街道文化センター
 鎌ヶ谷L C 15周年式典 於船橋パール・プラザ
 7 R 1 Z 公式訪問 於茂原ローヤルホール
 7 R 2 Z 公式訪問 於成東町中央公民会館
 習志野L C 20周年式典 於サンベック国際会長公式訪問 於品川ホテルパシフィック 翌22日成田空港へ見送り
 ライオネスクラブ連絡会議 於君津市ホテル千成
 松戸中央L C 10周年式典 於松戸玉姫殿
 5 R 1 Z 2 Z 公式訪問
 総武中央L C 20周年式典 於横芝文化会館
 H O S T F A M I L Y オリエンテーション 於千葉駅ビル(ペリエホール) PM1:00～5:00
 11. 1(日) 酒々井L Cチャーターナイト 於酒々井コミュニティプラザ
 11. 20(金)～22(日) 東洋東南アジアホーラム 於タイ国バンコク市
 11月21(土) 船橋中央L C 20周年式典 於船橋文化会館
 第2回C A B会議 於千葉パレスホテル
 11. 23(月) 第34回文部大臣旗争奪全国高等学校弁論大会
 主催 全国高等学校弁論連盟
 共催 千葉県教育委員会
 後援 文部省
 千葉県
 千葉県議会
 333-C地区L C他
 会場 千葉市民会館大ホール
 時間 9時～17時
 派遣学生選考会 PM1:00～5:00 於労働者福祉センター

ガバナー公式訪問隨行記

L 手塚ガバナー公式訪問スタート

1 R 1 R・PR情報委員 L 岡田 武

1 Z

(市川LC・市川東LC・下総中山LC・浦安LC
・行徳LC・市川北LC・浦安シーサイドLC)
・日時 1987. 8. 29 場所 西船玉姫殿

2 Z

(松戸LC・流山LC・松戸中央LC・松戸東LC
・野田LC・松戸ユーカリLC・閑宿LC)
・日時 1987. 8. 30 場所 北松戸玉姫殿

3 Z

(柏LC・我孫子LC・柏中央LC・柏グリーンLC
・印西LC・柏オークLC)
・日時 1987. 9. 5 場所 ホテルオーツク柏



1 R・1 Z でのガバナー挨拶

今年度の1 R ガバナー公式訪問は残暑厳しい8月29日1 Zより始まった。会場は西船玉姫殿。午後5時より各クラブ三役とガバナーとの打合せ会議が例会に先立ち行われ、キャビネットよりガバナーの他キャビネット幹事、副幹事、副会計、1 R・DDG、1 ZZC、PR情報委員が出席をし会議が進められ、手塚ガバナーは各クラブ三役一人一人に声をかけられ今年度の国際会長の方針や手塚キャビネットの方針、又これからライオンズについての抱負を述べられました。各クラブよりの質問にも



1 R・1 Z 打合せ会議

温くお答えになり有意義な会議が終了致しました。6時より別室にてガバナー公式訪問合同例会が開催され、会場には200名近いライオンがガバナーをお迎えし大拍手がおこりました。ガバナーは挨拶の中で、ライオンズク

ラブを支える三本の柱は①グッドスタンディングであれ②友情をもつ③アクティビティーがなければだめ、と力説していたのが印象的でした。プログラム通りの例会が終り、こんどは会場を宴会場に移し懇親会となりました。会場に入ると浦安囃子保存会の方々によるお囃しがガバ



神輿と共に 1 R・1 Z

ナー一行を迎えてくれました。キャビネット幹事の乾杯の後間もなく神輿が威勢よく練り歩き宴会も一段と盛り上がりいました。その後カラオケ等もあり無事懇親会も終了致しました。その夜ガバナー一行は近くのホテルに宿泊をすると言う事でホテル迄同行し、ホテルのクラブでZCを中心として和気藹々の懇親会第2部を行いました。



1 R・1 Z 幹事報告

翌30日、こんどは2 Zのガバナー公式訪問が北松戸の玉姫殿で行われました。4時からガバナーと各クラブ三役との打合せ会議が行われ、ここでも心の触れ合う会議になり和やかな雰囲気のうちに終了致しました。合同例会では300名位のメンバーがガバナーをお迎えし、厳粛のうちに進行致しました。ここでは各クラブの会長さんが張り切りすぎて予定時間を大幅にオーバーしてしまいました。ともあれガバナーがゴンドラに乗ってドライアイスでの白煙の中から登場するシーンなどがあり、ユニークな合同例会であったと思います。



1 R・2 Z ガバナー挨拶



1 R・2 Z ガバナーより各クラブ会長に記念品贈呈

9月5日、今度は3Zのガバナー公式訪問合同例会です。1R最後の合同例会で私自身ライオンズロアによく馴れて来た頃でした。やはり4時より各クラブ三役とガバナーとの打合せ会議。何ごともガバナーの腹を割っての会議の進行の仕方には感心をし自分自身大勉強になりました。合同例会ではやはり200名以上のメンバーがガバナーを歓迎し和気藹々の内に進行致しました。ここではガバナーを初めキャビネット役員がハッピーライフを着せられ替歌の炭坑節を踊らされ、大変楽しい想い出をつくれました。1R内3ヶ所の合同例会に参加をさせて頂きましたが、手塚ガバナーの人間味のある温さに触れ、又キャビネット幹事、会計、副幹事、副会計の思いやりのある献身さに敬意を感じました。最後に各ゾーンのZCの皆さんに例会のセッティング等に大

変御苦労があったことだと思います。ZCの御苦労に敬意を表し、R内ガバナー公式訪問の報告と致します。



1 R・2 Z での炭坑節



1R3Z ガバナー 踊りの輪に加わって



1R3Z また合う日まで

2 R 2 R・PR情報委員 L 渡辺瑞男

1 Z

(船橋LC・船橋中央LC・鎌ヶ谷LC・沼南LC
・船橋ポートLC)

・日時 1987. 9. 6 場所 パールプラザ

2 Z

(習志野LC・八千代LC・船橋東LC・船橋京葉
LC・船橋北LC・習志野中央LC)

・日時 1987. 9. 6 場所 パールプラザ

厳粛のうちにも和やかに実施される

台風接近のニュースに心配された天候もからりと晴れあがった9月6日(日)、手塚ガバナー外キャビネット役員による公式訪問が行なわれた。

午前1Z、午後2Zの2回にわたり、いずれも定刻にクラブ三役によるミーティングが約1時間に亘り行なわれた席上、各クラブの運営方針、継続ACT、会員増強等についての質問がガバナーからあり、ついで質疑応答

タイムに入り、テキパキと歯切れの良い応答を聞くに、流石ガバナーの威厳を感じました。しかしながらユーモラスな質問があつたりして終始和やかなミーティングであった。

後半の合同例会では、国際会長の方針や、ガバナー自身の方針などをアピールするのが通常のようだが、手塚ガバナーは、それらのことがらはZミーティング等で徹底しているのでとさらりとながし、LCIFについて言及され、特にメルビーン・ジョーンズ・フェローについて、国際社会における日本の立場、ファンドの重要性について力説され、広く会員に対し1000ドル献金の協力をうたえ、短時間にまとめた挨拶は出席会員の惜みない賞賛の的であった。



メルビン・ジョーンズ・フェローについて
力説する手塚ガバナー



クラブ会長の現況報告に耳を傾ける地区ガバナー

4 R 4 R・PR情報委員 L 嶋田秀雄 1 Z

(銚子LC・佐原LC・東庄LC・神崎LC・大栄LC・栗源LC)
・日時 1987. 9. 26 場所 犬吠崎京成ホテル

2 Z

(八日市場LC・旭LC・総武中央LC・飯岡LC
・多右LC・千潟LC・山田町LC・充LC)
・日時 1987. 9. 27 場所 八日市場市立公民館

9月26日、日本の最東端銚子犬吠崎京成ホテルに於て、4 R 1 Z (6クラブ) の地区ガバナー公式訪問合同例会が開催された。午後3時1 Z幹事L江畑誠耕の司会により、地区役員各クラブ三役の打合せ会議を行なった。会議では、L江畑耕作DDG及びL宮川Z Cのあいさつがあり、ひきつづきL手塚ガバナーと各クラブ会長との質問解答書に基づいた質疑応答が行なわれ、4時より地区ガバナー公式訪問例会に入り、名司会により、スムーズにプログラムにそって進行された。L手塚ガバナーの挨拶では、“ウイ・サーブ”はライオンズの義務であり、共に頑張ろう、“与える奉仕から育てる奉仕”を目指して、21世紀に向けて、100%着実に実行される事を望む、といった激励の言葉をいただき、有意義な公式訪問をめくくりになった。ガバナーを囲む懇親会もLどうしの友好と協力の輪をひろげる事ができ無事終了。曇り空ではあったが、1日目のすべての日程をスムーズに終了することができた。

9月27日(日)朝9時30分銚子吉川館を出発。途中L江畑DDGの引率で旭武藏野にて昼食。午後1時に旭市を出発、次の訪問地八日市場市立公民館に到着。午後2時2 Z (8クラブ) の公式訪問に入る。クラブ三役の打合せ会議、公式訪問例会。歓迎パーティと八日市場LCの

設営よく、午後7時にプログラム通り全ての業務を無事終了。最後は、多数のLメンバーの“また会う日まで”的大合唱のなか、L手塚ガバナー帰路につく。

最後に2日間本行事の責任者として、ご尽力をいただいたL宮川Z C、L鈴木Z C、そしてホストクラブとしての銚子LC、八日市場LCに対し心より感謝を申し上げ、公式訪問の報告といたします。



4 R・2 Z ガバナー公式訪問 手塚ガバナー挨拶

予告

年次大会でクラブ会報展を実施

明年5月21日(土)の年次大会の会場で、クラブ会報展を行います。各クラブ共クラブ会報の研修、発刊に努力して下さる様お願い致します。ちなみに4 Rでは、10月24日、会報編集研究会をひらいて、意気をあげる事になっているそうです。意義ある会報展になる様、御協力下さい。細かい事は後日発表致します。



4 R・2 Z ガバナー公式訪問 会場スナップ



4 R・2 Z ガバナー公式訪問 会場風景

アクティビティ・アルバム



交通安全運動キャンペーンパレード
松戸・松戸中央・松戸東・松戸ユーカリの
4クラブ合同ACT



交通安全キャンペーン
松戸4クラブ合同ACT



交通キャンペーン 4クラブ合同ACT
松戸・松戸中央・松戸東・松戸ユーカリ
の各LC



交通安全キャンペーン
松戸4クラブ合同ACT



献血及び献血登録 松戸中央LC



8/9 花火後の清掃の時のスナップ
松戸東LC



交通安全キャンペーンパンフレット配付
野田LC



交通安全キャンペーン参加
ミニバトカーを寄贈 野田LC



恒例の図書貸出し袋2000個を市図書館に寄贈
柏LC



ブラジル国チームを柏に招き 柏中央LC



15周年記念チャリティゴルフ大会 鎌谷LC



鯉のぼりのお腹をくぐり抜けさせた
船橋ポートLC



植樹 習志野LC



鯉のぼり 船橋ポートLC



植樹 習志野LC



YE学生 ホスト家庭にて 八千代LC



YE学生 会長L宅にて 八千代LC



献血受付で奉仕するL及川(Dr)L野山
L野山は36回連続奉仕の偉業を
なしとげた
船橋東LC



成田空港 派遣学生の出むかえ 船橋北LC



船橋養護学校、夏祭り 船橋北LC



献血アクト 船橋北LC



献血 A C T 習志野中央 L C



献血 A C T 習志野中央 L C



← 献血 A C T 習志野中央 L C



リバモア L C (カリフォルニア州)
マイヤー前会長 ファンク・D・D・Gと交歓
四街道 L C



献血奉仕 千葉京葉 L C LSC 合同



リバモア L C、日光中禅寺で交歓 四街道 L C



献血風景 飯岡 L C



← 献血活動 飯岡 L C →





青少年健全育成～少年野球大会
優勝!!監督胴上 銚子L C



老人ホーム慰問
メンバーおはやし練習風景 旭L C
87.9.12



青少年健全育成 - 少年野球大会
優勝チーム表彰 銚子L C



老人ホーム慰問
懸命に太鼓をたたくメンバー 旭L C



老人ホーム慰問
おどり出すお年寄 旭L C



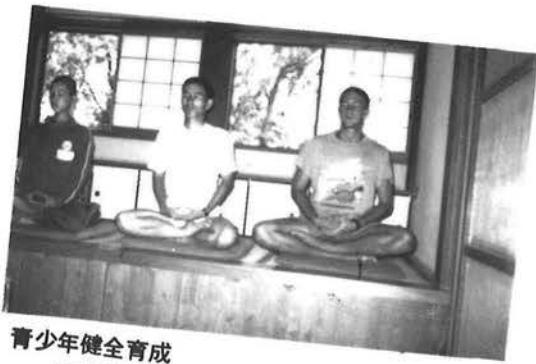
幼稚園児を梨狩りに招待
大栄L C



幼稚園児を梨狩りに招待
大栄L C



メンバーにたっこして 大栄L C



青少年健全育成
富津中学 座禅研修 富津 L C



青少年健全育成
富津中学 座禅研修 富津 L C



↑
ガバナー公式訪問記念献血
← 館山、館山南、館山北の各 L C →
献血登録受付中



手塚ガバナーを囲んで
お別れのスナップ
館山、館山南、館山北の各 L C



Y E アメリカ学生
館山、館山南、館山北の各 L C



継続アクト 青少年健全育成
陸上自衛隊第1音楽隊を招待しての
中学校プラス部の指導 房州朝夷 L C



青少年文化活動 世界の貝類展を企画した 白子 L C



熱心に見学する子供達 白子 L C



珍しい貝類展示会 白子LC



楽しい納涼例会 市川北LC



楽しい納涼例会 市川北LC



国際色ゆたかな納涼例会 柏LC



国際色ゆたかな納涼例会 柏LC



イタリアからのYE交換学生も出席したライオンレディー例会 旭LC



イタリアからのYE交換学生も出席したライオンレディー例会 旭LC



新クラブ結成会



長柄ライオンズクラブ結成会場風景

秋風薫る9月20日（日）茂原市、平安閣にて、日本で2854番目、千葉県で84番目の愛の灯がともされました。

“長柄ライオンズクラブ”誕生

茂原長生ライオンズクラブ（会長、L米良一美）スポンサーとして、長生郡長柄町に新クラブが結成されました。新会員数30名（会長、L鶴田進）を擁し、地区ガバナーL手塚勇を初め、キャビネット役員及び各ブレザークラブの盛大なる祝福を受け、厳粛なる結成会が挙行されました。

長生郡長柄町は千葉県中央部に位置し、林業、農業を中心とした、緑豊かな、静かな農村牧草地帯の広がる自然美のあふれるすばらしい地域であります。

この大自然の中で、奉仕の灯をこれからともそとする新会員の皆様、今後は世界のライオンズメンバーであるという認識と自覚をもって、地域社会の為に奉仕活動に精進される事をお祈りいたします。

尚“認証状伝達式”は、63年2月21日（日）の予定となっております。

7R PR情報委員 L井村大祐

チャーターナイト

関宿ライオンズクラブ

関宿ライオンズクラブは、千葉県で82番目のクラブとして、国際協会より認証状の伝達式を行なわれました。

ブレザークラブの皆様、あたたかいご支援とご指導をお願い申し上げます。



関宿ライオンズクラブ後藤会長 開会ゴング



手塚ガバナーのご挨拶



手塚ガバナーより認証状の授与



宣誓



認証状を高々と掲げる
関宿L.C後藤会長



談笑する平井勇前ガバナー

周年行事

“茂原長生ライオンズクラブ” チャーターナイト20周年記念式典 挙行さる

新涼快適の秋空の下、9月20日(日)茂原市、平安閣にて、茂原長生ライオンズクラブ(会長L米良一美)チャーターナイト20周年式典が、333C地区ガバナーL手塚勇を始め、キャビネット役員、沼田知事、近隣市町村長、並びに各種団体役員、ブザーカラブのメンバー等350余名の参加を得、盛大なる式典が挙行されました。ちなみに当クラブの歴史的変遷を振り返って見ますと、1966年12月、茂原ライオンズクラブのスポンサーにより千葉県下28番目のクラブとして結成されました。その後20周年の歳月の中で、数々のACTを残し、地域社会に貢献し、今日の53名のメンバーと共に20周年を迎えた事は実にすばらしい事であり、且つ意義深いものが感じられました。



茂原長生ライオンズクラブチャーターナイト
20周年記念式典 挨拶をする手塚ガバナー

その間1980年4月“白子ライオンズクラブ”1982年“長南ライオンズクラブ”1987年9月“長柄ライオンズクラブ”等を誕生させ、又20年間のACT件数199件、ACT金額29,407千円、労力ACT延時間数9113時間(いづれも20周年記念誌より)とすばらしい実績を残し、メンバー全員が社会奉仕の理念に燃え、特に記念誌より推察しますと、学校教育、社会福祉の向上を始め、交通安全の推進等、常に地域社会の要請に応えた幅広い活躍を行っているクラブである事を感じました。この20周年を契機に一層ライオンズマンとしての精神を發揮されご活躍を祈ります。

おめでとうございます。
第7R PR情報委員 L井村 大祐

第34回年次大会事務局開局

大会事務局長 L磯部 樹三夫

「潮の香りとロマンの木更津」……333複合地区、333C地区の第34回年次大会を、来年5月21日・22日に開催する為、準備活動を始めた大会事務局では、10月2日全委員に加えて、手塚ガバナー他キャビネット役員8Lも出席し、楽しく喜んで参加できる大会を目指して、その成功を誓い合った。尚 事務局は、

木更津市潮見4-15-1 (株)木更津日報社 2F

T E L 0438-36-0342
F A X 0438-36-0342



クボコウチ アツミ
久保河内 敦美

昭和16年3月20日生

一生懸命やろうと思いますが、どこまでやれるか心配です。御指導のほど、よろしくお願ひ致します。



ワカナベヨウコ
若鍋洋子

昭和39年12月17日生

主にYEを担当させていただきます。多少勝ち気な私ですが、皆様よろしくお願いします。趣味、テニス・スキー。



年次大会会場 (木更津市民会館)

YE来日学生だより

M14 マデリン・フン・ミー・レン
ライオンズクラブ国際青少年交換 於日本



自1987年7月25日 至1987年8月8日

このライオンズクラブ国際青少年交換日本計画には16才から21才までのマレーシア青少年が合計27名参加しました。私たちは札幌、東京、大阪、福岡と日本各地に配置されました。私は東京から20マイル離れた野田市の日本家庭二軒に滞在することになりました。

最初の週は中村家、最後の週は逆井家で過しました。
青少年交換計画は私がひじょうに良く知っていた日本について私の知識を一層広げてくれました。

日本人は私が今までに会った各国人の中でも最も親切で禮儀正しい人々です。高度の修養を積み規則正しく行儀作法を心得ています。友情にあふれ客を遇する術を知っています。日本の男女、ことに勤労青少年は流行を追い日焼けを好みます。

日本は近代的ですがその文化と伝統は忘れられていません。日本の店や食堂や家屋には和紙をはった襖や障子があります。日本人はいつも膝を折って座り畳の上に寝て箸で食事をし玄関では靴を脱ぎます。日本のお祭、お盆は老いも若きも楽しみます。若い入たちはダンスのステップを覚えたがるが、又伝統的な生花も続けています。しかし伝統的な衣裳である着物を着なければなりません。優美で女性的にみえるので着物を着るのが私は大好きです。

日本には訪ねる場所が多いのですが目的地がそれぞれ離れています。したがって新幹線のように安価で高速の交通機関が多数の乗客を仕事先や旅行先に運ぶ最適な乗り物となっています。自転車は自動車やオートバイと同じく普及しています。

電話、トイレ、飲物自動販売機、ふん水、ベンチ、バス停はどこにでもあります。日本に来る前、私はずっと日本食は皆ナマで無味なものと思い込んでいました。日本食は優美かつ巧妙に調理されています。私が食べた中



ではうどん、てんぷら、手巻き寿司、釜飯、おつゆが好きです。

日本人は自分の国の言葉を愛しています。日本を知り日本人と意思を通じ合うことを望むなら、全ての外国人は日本語を勉強しなければなりません。しかし英語の方がより容易に意思が通じ合えることが何故強調されないのでしょうか？

日本人は親切でいいよう良く行儀正しいので、日本は旅行先としては最高です。日本は急速に近代化していますが、数世紀前から続く祭りが若い世代に受け継がれています。どの家庭にも主婦が家事雑用をし易いような調度器具が揃っています。日本の生活水準が高いことは疑いありません。

最後に私は、私に二週間も日本を学ぶ機会を与えて下さった野田ライオンズクラブ333-Cにお礼を申し上げます。私を歓待して下さるため、皆さん、特に中村家と逆井家の皆さんのがられたお骨折りに心からお礼申し上げます。手厚いおもてなしには感謝しております。この機会に私は皆さんすべてをマレーシアに歓迎することを申し述べたいと思います。

ドーモ・アリガトー・ゴザイマシタ

CN70 リチャード・オースティン・メース
1987年9月10日 千葉県松戸市

1987年度ライオンズクラブ 松戸ユーカリライオンズクラブ 国際青少年交換日本派遣 333-C地区へ
米国学生

抨啓。

大学の勉強と新しい仕事で忙しかったので、お手紙を差し上げるのが遅くなり申し訳ありません。日本の生活、文化、人々は私に強い印象を与えました。ライオンズクラブ国際青少年交換のように名誉ある企画に選ばれて、参加でき私はたいへん嬉しく思っています。日本では三週間ずつ二ヶ所にホームステイをしましたが、その思い

出を語るとき、私には称賛の言葉があるのみです。二ヶ所のうちでも、松戸市の滞在は最高でした。大橋さんや松戸ユーカリライオンズクラブと過ごした間ほど、愉快で、多くの経験をしたときを私は他に思い起こすことができません。観光旅行に何度も出掛けましたが、大いに楽しみました。私がお会いできた人々はひじょうに親切で、寛大でした。このような資質は米国人が持ち合わせない貴重なものです。又日本には協力感と団体交際があり、これは米国の友人達にぜひ強調したいことです。

ここに、改めて、素晴らしい有意義な時を過ごさせていただいたことに対し、皆様すべてに、お礼を申し上げます。再び日本を訪れるときは、皆様の会合に必ず出席いたします。

G J 9 ステファニー・フリック 日本滞在の報告

柏に来て今や二週間経過しましたが、日本を離れる日のことを思うとゾッとなります。

あらゆることが私の母国と全く違っていますが、ほんとうに快く落ち着いていましたし、生活習慣の違いを知ることは、ひじょうに興味深いことです。

私の最初のホスト・ファミリーは私を数多くの場所に連れていって下さったので、私は柏だけでなく他の土地も知ることができました。例えば、日光には丸一日滞在し寺院や有名な滝にひじょうな興味を抱きました。

別の日には電車で東京に出掛け、銀座、東京タワー、淺草を見物しました。又私は成田の寺院を訪れたり、日



H J 7 サンドラ・ヴァルカリング 親愛なる柏オークライオンズの皆様へ

私の日本滞在を可能にして下さった皆様にお礼を申し上げます。来日前に、日本の風土や文化について多くの本を読みました。どれも真実でした。否それ以上だと言うべきでしょう。日本は本に書かれているよりずっと美しい。

多くの寺院やいろいろな場所を見学しました。トランスの学生達と京都、奈良に旅しました。鈴木ご夫妻・吉野ご夫妻・椎名ご夫妻と日光を訪れ東照宮を拝観しました。私は二週間半を吉野家で過ごしました。皆様は日本そのものを教えてくださいました。改めてお礼を申し上げます。私は又伊藤ご夫妻にも感謝いたしております。伊藤家には二週間半お世話になりました。新潟県やその他の土地をご案内して下さいました。石渡ご夫妻と伊藤様には東京のディスコを見せていただきました。私はひじょうに親切な人々と共に、そして見聞したことを

本画を学ぶ機会を得ました。そのうえ、いくつかのライオンズクラブが催した多くの旅行に加わりました。これも本当に興味深いものでした。我々は山に登り、エキスポを訪ね、醤油製造工場を見学しました。又私にとって忘れる事のできぬことは、立派なライオンズパーティーです。そこで他の交換学生とも出会いました。彼等とは素晴らしい京都に三日間滞在し、楽しいことが数々ありました。

最後に一言申し上げれば、このように多くの素適な人々に出会い、このように多くの興味あふれる土地を見学できた日本での最高の日々を、私は終生忘れることはないでしょう。



もっと多く挙げることができます。しかしそうすれば一晩中語り明かすことになるでしょう。日本での一番おかな経験は初めて公衆トイレに入ったときです。私の一番素晴らしい経験は日本人の人々の親切と歓待です。日本について私が最も称賛することは、日本人が勤勉に働くことと他人に対する思いやりです。

私は日本とオランダが、今年再び一層緊密な関係になったと思います。又ヘイルーライオンズクラブと柏オークライオンズクラブは、ひじょうに親しい関係になりました。

私が今日本を離れねばならぬことは実に悲しい。しかし私にはオランダでせねばならぬ務めがあります。

ワタシハ オランダニ カエリ トモダチ カゾク
ソシテ ライオンズクラブニ ミナサンガ ワタシニ
シテクレタ イロイロナ コトヤ シンセツナ コトヲ
ハナシマス。 ホントウニ アリガトウ ゴザイマシタ。
ミナサンハ ニホンデノ ワタシノ スバラシイ
オモイデヲ ツクッテ クレマシタ。

C N 201 アン・マリー・ブキャナン

私の日本滞在日時が終ったとは信じられません。飛行機から降りわくわくしながら未知の土地に足跡を踏み出したのがほんの昨日のように思えます。間もなく私は飛行機に乗り込みますが、私の人生における最も感動的な6週間の、多くの素晴らしい思い出を持ち帰ります。

日本に着いてからひじょうに多くのことを見、かつ経験しました。壮麗な山、穏やかに流れる川、絶えず波立つ海を見ました。満員の地下鉄に乗り、人のあまり



通らぬ道を自転車で走りました。音楽の鳴り響くお祭りで踊り、平和な茶会にも出ました。美しい寺院や高層ビルがどこまでも建ち並ぶ市街にも行きました。多くの人々が生涯かけて経験する以上のものを私は6週間で経験した感じです。

私はアメリカを離れる以前日本について殆んど無知でした。しかし滞在中に多くを学んだので、他の人に私の知識を分ち与えることができるのではないかと期待しています。6週間はひじょうに短い期間でしたが、少くとも日本の、より鮮明な実像を知るうえで充分な経験をしたと思います。寿司の味やふとんに寝む感触はとても言葉だけでは正確に表現できませんが、他の人々が以前の私以上に日本を知るうえで、私の知識と経験はおそらく役立つことでしょう。

この6週間を実現させて下さったことに対し、日本のライオンズクラブ、就中船橋ライオンズクラブにお礼を申し上げます。もしライオンズが無かったらとてもこの

ような機会を私はもてなかつたでしょう。皆さんは世界の青少年に他の国を知る実に貴重な機会を与えて下さいました。次に私のホスト・ファミリー相川家の皆さんにお礼を申し上げます。おかげで日本の最後の3週間は素晴らしいものでした。皆さんは私を家庭内に温く迎え入れて下さいました。皆さんのして下さったことを私はけつして忘れません。

C N32 シエリル・リン・ジョンソン

鎌谷市の田沢家での滞在がすばらしかつたと申しても控え目な表現にすぎないでしょう。私は大事に扱われ大歓迎されたので、すっかり家族の中にとけこんでしまいました。ぜひ見たいと思った興味ある場所にも連れて行っていただきましたし、いつも楽しい時を過ごしました。

田沢さんの家族を少しずつ理解していくことは私の滞在中でも最も興味あることでした。家族はたいへん優しく魅力ある人々です。これ以上の家族を求めるることはとても出来ません。「お父さん」は面白い所をたくさん案内してくれました。「お母さん」はいつも私の世話をし、日本の習慣をいろいろ教え、アメリカに持ち帰る日本的な品々を下さいました。私の二人の「お兄さん」リイチロウとキミヨシは私のほんとうの兄のようになりました。私の「妹」フミコはどこにも一緒に行きましたし、いつもすばらしい時をすごしました。

鎌谷ライオンズクラブは、この立派な鎌谷市に私を迎えてくれました。クラブメンバーの皆様ともそれぞれお会いしゆかにすごしました。メンバーの人達には市長との面会に立合っていただきたり、梨園や製麺工場にも案内していただきました。又ガーデンパーティーも催して下さり、おいしいバーベキューをふるまい花火も見せて下さいました。鎌谷ライオンズクラブの会合がいっぱいなレストランで開かれた時も出席を認められ、ライオンズの活動を嬉しく拝見しました。

私が田沢家に滞在した短い間にたくさんの面白いところ、美しいところに案内されました。いずれの場所も一生忘れることができません。夢工場87に案内され、りっぱなショーや店を見ました。六本木にあるアメリカ人好みのハードロック・カフェに二度も行き、おいしいハンバーガーを食べ特別のTシャツを買いました。私達は又、六本木のディスコにも行き、楽しく一晩中踊り明かしました。

D J 5 ウラ・クローセン

親愛なる船橋ライオンズクラブの皆様へ

ホストファミリー家庭に滞在させていただいたことに対し、私は皆様にお礼申し上げます。

当地で過ごした期間は最高でした。そして何時の日にもか、皆様と再会できることを望んでいます。多くの事を経験しました。どれもこれも楽しみました。皆様全てが親切でした。皆様のことは決して忘れません。私が滞在した二家族のホストファミリーへの想いは尚更です。皆

E D 20 ジーン・パトリシア・マッキントッシュ

この報告書を始める前に、私に日本を案内し日本の生活様式を教えるため時間を割いて下さった全ての人達に感謝したいと思います。私はこの夏日本すばらしい時を過ごすことができました。

最初に私は宮本家で一週間を過ごしました。私たちはお互いに意思をうまく通じ合うことができませんでした

日本と私の新しい友人である皆さんすべてにお別れを告げる時が来ました。私の故郷は私を待っていますが、日本での貴重な日々を忘れる事はありません。アメリカを離れる前は、日本の国が遙かに隔ったところに思いました。しかし帰国すれば日本はずっと近くに感じるでしょう。なぜなら私は記憶と心の中に日本を持ち帰るつもりだからです。ありがとうございました。

した。家中みんなで華やかな日光まで永い日帰り旅行に出掛け、美しい滝を見学し興味あふれる東照宮を拝観し「お母さん」の親類の方々にも会いました。浅草や銀座にも出掛け一日中買物をしました。

田沢家の皆さんが私に与え、そして下さったすべてのこと、「ありがとう」という簡単な言葉さえ言うことは難しい。その一つ一つを私はけつして忘れません。私の田沢家の滞在は際立ったものでしたから、私は他の青少年交換学生が私と同様素晴らしい時を過ごしていればと希望します。これ以上の待遇やこれ以上楽しい家族はとても望めませんでした。ほんとうの日本人家族の一員のように暮らせました。アメリカ人の旅行者ではありませんでした。睡眠や食事の習慣から親切な態度までいろいろ日本の文化を経験することができました。

私もお返しにアメリカのスパゲティを作りましたけれども! 「お父さん」と「お母さん」は私の日本にいるパパとママです。私をあなたたちの家庭に受け入れてくれてありがとうございます。そして真珠のイヤリングもあります。リイチローには寿司のサンプルのお礼を、キミヨシには六本木と10時までのディスコとディズニーランド土産のお礼を言いたい。フミコ、あなたはあなたの生き方を見せて下さり、あなたの友だちとも楽しく過ごしました。夜遅くまでおしゃべりしたことは決して忘れられません。あなたたち皆さんと別れるときっと淋しくなると思います。

私は日本で得た人生経験について、田沢家の皆さんと鎌谷ライオンズクラブに対し心からお礼を申し上げます。あと10日間でも永く居られたらと思います。私は何事も忘れません。他のアメリカ人にも私の得た日本文化の経験と同じ経験をするよう、ライオンズクラブ青少年交換計画に参加するよう強くすすめるつもりです。

親愛の情を込めて

様と会えぬことを淋しく思うことでしょう。

日本の食事は美味しい、嫌いなものは一つもありませんでした。

日本は素適な国です。日本がこんなに良い国で素晴らしい処だとは夢想だにしていました。しかし事実そのものです。

日本に滞在させていただきありがとうございました。そして私に示して下さった皆様の親切にお礼を申し上げます。

ウラ・クローセンに代りヴェンリッヒ・ニルセン

が、それにもかかわらずこの家の滞在を私は楽しみました。私がはじめて寿司を食べたのはこの家でした。私はジローと一日ディズニーランドで過ごしました。宮本夫人と私は東京の観光バスに乗りました。この家では私のために歓迎パーティーをして下さいました。

また船橋東ライオンズクラブもパーティーを催し歓迎して下さいました。私はまた八千代市長ともお会いし、

カナダに向って出発するジュンコにお別れを言い、そして私にとっての二番目の家族村岡家に移りました。

私は村岡家に二週間いましたが、その二週間に私はいろいろな日本を見ました。トミコと私はいっしょに富士山に登りました。私は空手大会にも行きました。そこで私はいっしょにいた二人の男の子とテレビ番組のインタビューを受けました。その番組は次の日曜日に放送されました。私たちは広島に一日行き、タミコと私は神戸で幾日か過ごしました。又私はライオンズクラブの集まりに出席しましたし、日本のミュージカルにも行きましたが、大いに楽しみました。私は二、三日は東京で買い物をして過ごし、一日海へも行きました。或る晩私は花火大会にも行きました。二週間が過ぎ私は三番目の家庭に行くことになりました。

杉岡家の滞在はとても刺激的でした。私はそこにいた三週間に多くのことをしました。いつも忙しかったのでホームシックにかかる暇もありませんでした。最初の晩は私のために歓迎パーティーをして下さいました。そして次の日ヒナコと私はライオンズクラブのキャンプに出掛けました。私たちはとても楽しみました。私は今までにホテルでキャンプしたことなんてありませんでした。そのキャンプの間中で私は四時間しか眠りませんでした。そのため帰った翌日に私がしたことといえば眠るだけでした。それから何人かの友達といっしょにヒナコと私は大仏を見に出かけて横浜で中華料理を食べました。

次の土曜日に私たちはゆかたを着てライオンズクラブのパーティーに行きました。8月9日の日曜日には、野球のトーナメントの開会式に行き、その後八千代市の祭りに行き、夜は船橋市の花火大会に行きました。翌月曜日、キャンプで知り合ったYE学生のグループがディズ

ニーランドに集合しました。次の日ヒナコと数人の友達と私は二日間の日程で館山へ行きました。船橋東ライオンズクラブの会員も数名同行しました。水曜日にはヒナコと私は八千代ライオンズクラブの何人かの会員といっしょに再度ディズニーランドに行きました。翌日私は佐久間家で二晚過ごすため杉岡家を離れました。そこにいる間私たちは横浜に行きました。

8月16日から二日間杉岡家の人々は私を鴨川へ連れて行って下さいました。良い休養になりました。8月19日ヒナコと私は製氷工場見学に行き、その晩は東京のディスコに行きました。ディスコは大好きです。8月20日杉岡夫人とヒナコと私は京都へ小旅行に出ました。観光バスに乗り買物もしました。8月21日に船橋東ライオンズクラブは、デイル、アレックス、そして私のためのお別れパーティーを催して下さいました。みんなとても悲しみました。8月22日私は帰国準備の荷造りをしてから八千代市の花火大会を見に行きました。そしてひじょうに悲しいことに、私はカナダへの飛行機に乗らなければならなかったのです。

この夏日本で過ごして本当に楽しました。私はここでたくさんのすばらしい人たちと会えたので、カナダに戻ったらその人たちと会えなくなりとても淋しく思うでしょう。ライオンズクラブの行っている青少年交換は、私はすばらしいと思います。私は近い将来再び日本に来ることができればと望んでいます。皆さん、私と一緒に生活して下さってありがとうございました。私は本当にすばらしい夏を過ごすことができ、カナダの家族や友人に良いみやげ話ができました。本当にありがとうございました。私は永遠に忘れません。

1987年8月23日

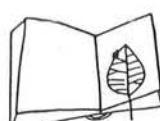


となり忘れ得ぬ想い出も多く得られました。

特別の感謝を私の素晴らしいホストファミリー家族に捧げます。この人達は私に文字どおり日本の全てを見て下さいました。時として言葉で旨く意思を通じ合えないことがあっても、私が彼等の息子であるが如く、いつも愛され歓迎されていることを身に感じていました。私は彼等に親愛の情を抱いています。

私をこんなにも歓迎して下さった全てのライオンズと日本の人々に、日本語で申し上げます。

ドウモ・アリガトウ・ゴザイマシタ！



ED 8 デール・ケー・グリンデ

日本滞在中、私は食事、人々、環境といった数多くの素晴らしい体験をしました。私はホスト・ファミリーとその友人達がこのうえなく、とても好きになりました。この人達の寛容にどのようにして報いたらよいのか、私はその術を知りません。

東京（他の町）、寺院、海浜と多くの旅に出ましたが決して忘れることができません。海浜では水泳とスノーケルを楽しみました。水中では様々な種類の色とりどりの魚類の群れや海底植物を凝視しました。サマー・キャンプも楽しみました。世界中からやって来たひじょうに多くの人々と友人となる機会を得ました。しかし日本の友人を最も大切にしたいし又一番懐しいものに思うでしょう。キャンプで多くの新しい友人が得られた結果、キャンプの後で二度ほどYEのためのパーティーに招かれ、楽しい時を過ごすことが出来ました。

私はキャンプを開催して下さったライオンズの人々に、お礼を申し述べ度いと思います。お陰で数多くの人々と良い友人

ED28 アレキサンダー・ディヴィド・ロス



日本に行くことになると最初に知った時私はたいへん興奮しました。アメリカと日本の文化の相違は興味がありましたし、両国民を

判断する最善の基礎とも思えたので、両国文化の相違を是非経験したいと思いました。

日航機から降りる瞬間まで私の頭の中はこれから出合うであろうこの巨大な相違でいっぱいでした。しかし空港で日本の人々に歓迎された瞬間、相違より類似が大切なだと気が付きました。日本の行く先々で私は、両国の具体的な相違をはるかにしのぐ人と文化の類似を発見しました。

到着の夜日本で乗った最初の車の中から私はセブンイレブンのコンビニエンス・ストアを見つけました。カナダでは暇つぶしに友達と近所のセブンイレブンによく出掛けっていましたからたちまち嬉しくなりました。

次に中華料理を食べに出ましたが、これもカナダでの楽しみです。寺沢さんの家に着いて、カズミ、カナエ、カズヒコと長話をしましたが、私と同じ音楽やスポーツ好きだと聞いて楽しくなりました。日本の最初の夜からもうすっかりくつろいでしまいました。

その後旅行中ずっと類似の体験が続きました。私の二人のホスト・マザーは実の母と同じくやさしく世話好きでした。青少年交換学生同窓会の人々はすぐ親しい友人になり、日本の人々と私の間で触媒のような働きをして

ED31 リア・ティムコ

この夏日本に行くことが確定したとき、勿論私は興奮し、と同時に不安を覚えること並大抵ではありませんでした。この国について殆んど何も知らないと素直に認めますし、日本で何が私を待ち受けているか想像もできませんでした。カナダにいると日本についてのニュースは殆んど入ってきません。私は日本の国や日本人について一度も学んだことはなく、本や雑誌でも余り読んでいません。私の抱いているおぼろげな印象はおそらく映画で得たものでしょう。柔らかな日本の音楽が流れる中で着物を着て床に座り茶を啜る静かな人……これが私の描いた日本人像でした。西洋人が映画やテレビで見る日本人が眞実の日本人とはるかにかけ離れたものだと言わざるを得ないのはひじょうに残念です。

東京に着いて飛行機から降りたとき私が先ず参



下さいました。

それから青少年交換キャンプがありました。世界中から来た人々と会いましたが、みんな私と類似していました。キャンプでは予定内外の活動を通じて違った人々との相互影響を大いに楽しみました。名前はすぐに忘れるでしょうが、この人々が永く記憶に残ることは確かでしょう。

間もなく日本を離れねばなりません。数ヶ月前には思ってもみなかったことですが、悲しくて涙が流れるに違いありません。訪れた場所をいつまでも記憶し懐しく思うでしょうが、それより更に大切なのは、私の出会った人々を思い出し離れていることを淋しく感じることでしょう。

皆さんの美しい素晴らしい国に滞在中に私が学んだ最も重要なことで、しかもいつまでも記憶に残ることは、世界中の人々は実は同じであるということです。

寺沢家の皆さん、渡辺家の皆さん、青少年交換学生同窓会の皆さん、船橋東ライオンズクラブの皆さん、そして日本で友人となったすべての人々に、私を大歓迎して下さったことに心からお礼を申し上げます。

ドウモ・アリガトウ ゴザイマシタ



ってしまったのは大変な暑さです。文字どおり歩くことも息を吸うことも困難でした。今ではこの暑さにも慣れましたが最初は驚いてしまいました。何せ全く経験したことのない暑さでしたから。他にもショックを受けたことと言えば、誰もが同じ髪の色、同じ皮膚の色、同じ日の色をしている事実、そして誰もが同じ言語を話すことです。カナダの文化は幅広い多様性をもっています。私の町には中国人、日本人、イタリア人、フランス人、ロシア人、ドイツ人、デンマーク人、スペイン人、……世界中全ての国の人々が住んでいます。カナダにはあらゆる人種、皮膚の色、宗教、言語が共存しています。日本人がカナダに来てもいささかの疎外感を感じないでしょう。殆どの人々が彼をカナダ人だと思いこんでしまうでしょう。

日本では奇妙な気分で落着きませんでした。実際最初の二週間私が会うのは日本人ばかりで只一人の外国人もいませんでした。私は北海道の砂川市に滞在していましたが、外国人の訪れるこの殆どない所なのでいつもジロジロ見られていました。こんなにも異和感を感じたのは全くはじめてのことでした。

日本滞在はかかる貴重な経験でした。旅行好きで未知の国を訪れるのが楽しみな私ですから、ホストファミリーやライオンズメンバーの方々が日本の優れた場所

にご案内して下さり最高の気分です。短い滞在期間の割りには北海道を広く見歩き数多くの経験をしました。中でも印象に残るものを二、三挙げてみます。高校の授業参加はすばらしい思い付きでした。同世代の友人が多く得られただけでなく、日加学生の類似と相違（違いはありません）を比較する機会に恵まれました。カナにはない学園祭に参加できて愉快でした。

登別国立公園に行ったときも大いに楽しみました。活火山を見ることは興味あることでした。温泉は問題なく最高。日本的な宿に泊ったのも新しい経験でした。着物姿の私の婚礼写真はとっても奇麗です。こんな写真がとれて只々興奮していました。いつまでも宝物にします。

砂川から千葉市に移りました。直ぐ様私は全YE学生のため催されたサマーキャンプに参加しました。これは今回の旅行で気に入った部類に入ります。驚いたことに世界中の国々から学生が集ったのです。言葉の違いは問題になりません。ただ挑戦あるのみでした。全旅行期間中この時が一番多く日本語を覚えました。僅か三日間だというのに。ほかにもデンマーク語、イタリア語、オランダ語、中国語を少しづつ覚えました。他のYE学生と一緒に意見を交換し、感情を触れ合い、経験を披露し合うのは大層意義あることでした。私達は世界のあらゆる所から集りましたが、多くの点で眞実同一であるとの認識を全ての出席者が抱いたものと私は信じます。キャンプの結果デンマーク、イタリア、オランダ、日本にペンフレンドができました。ホストファミリーの姉妹とも一日東京ディズニーランドで過ごしました。勿論と

C N202 ジョゼフ・デーヴィド・クレメンツ

このライオンズクラブ青少年交換と私の干潟滞在は実り多きものでした。高木家の皆様と過ごした最後の三週間に、私は日本人と日本の習慣について数多くのことを学びました。

最後の三週間多くの場所を訪れ、多くのことを学びました。最初の三日間はYEサマーキャンプで過ごしました。私はたくさんの新しい友人と会い、YE学生と日本人との連帯感を楽しみました。

サマーキャンプから帰った夜はライオンズクラブの会合があり、私も出席しました。翌日私は千潟町役場を訪れ、千潟町長に面会しました。八日目は最高の日でした。午前中は地元中学校の英語の授業を参観しました。夜は

S K 3 ナディア・マルシャック

この交換制度は大成功であったと私は考えます。

私はホストファミリー三家庭を移り、全部で6週間日本に滞在しました。

日本での最初の2週間は流山市で横田ご夫妻とその家族と共に過ごしました。彼等の歓待と親切は際限がありませんでした。そのうえ、私たちは多くの場所を訪れました。京都、奈良、筑波山、ディズニーランド、銀座、皇居、そして浅草。これらは凡て私のような交換学生が訪れるのに有意義な場所がありました。

日本人家族と共に生活する機会を得て、私は眞の日本の生活を直接経験することで体得しました。

ライオンズの多くの催しに参加し、世界中から来た青少年交換学生と知り合う機会を得ました。

次の2週間は君津市の笠島ご夫妻のもとで生活しました。お二人は私を心から歓迎し、家族の一員に加えて下

っても楽しく大はしゃぎしました。

成田のお寺にも行きましたが、これはぜひ行ってみたいと思っていた所です。とっても素晴らしい写真をたくさん撮りましたから決して忘れません。僅かな時間でしたが有名な富士山の姿を見る事ができました。今まで写真で何回か見たことがありましたが、実際の姿を見る事ができてとても興奮しました。そして最後になりましたが、札幌や東京のような大都会で、買物や観光をたくさんしました。

あれやこれやでこの夏は私の人生で最高の夏でした。皆さんのが私にとても親切であったこと、そして私の滞在が楽しいものとなるよういろいろ手助けをして下さったことを私は絶対忘れません。私のホストペアレンツは皆私がほんとうの子供であるように扱って下さり、ホストシスターとブラザーはとても優しくしてくれました。私青少年交換が眞実意義あることだと思います。日本に来る前は日本について皆目無知でカナダとは全く違う所と思っていた私が、この国に一ヶ月半住んで眞実を悟りました。習慣と言語は異っていても、人々は全て本質的に同一であるのです。未知の習慣を学び、はじめての食物を口にし、言葉まで幾つか覚えたのは私にとって意義あることでした。そして同じことが私のホストファミリーにも言えます。皆さんも私からカナダについて学びました。カナダにはたくさんの写真と数多くの思い出を持って帰ります。私は家族や友人にいつまでもいつまでも日本の物語りを語り続けるでしょう。

愛と感謝の心を込めて

ライオンズクラブの野球の試合に出ました。

十日目はサマーキャンプで知り合った友人とディズニーランドに出掛けました。その翌日畜牛と養鶏の牧場を見学しました。15日目には干潟祭りに行きました。

17日目私は干潟を離れ東京に向いました。その晩、東京ディズニー・ランドと有名なアメリカン・カフェに行きました。翌日はプロ野球の観戦、19日目に帰国。

この旅行は凡てが凡て、私の人生における最も重要な出来事がありました。日本と私の母国との相違を実感させる手助けとなりました。凡ての人々が海外に旅行する機会を持つべきだと私は信じます。世界の国々を理解することは平和維持のために非常に大切です。このライオンズクラブ交換制度はこの相互理解を深める重要な役割を担っています。

さいました。日光国立公園、益子、富士山、鴨川シーワールド、白浜、大多喜城などを訪れました。

君津ライオンズクラブでは私のために多くの催しを開いて下さり、お陰で多くの素晴らしい日本人と知り合う機会を得ました。

更に私は富津青少年交換キャンプに参加しました。それはとても楽しく、世界中の青少年交換学生と会う貴重な機会に恵まれました。

私の最後の2週間を富津市の石川ご夫妻と二人の子息、ジェイミーとジエンのもとで暮らしました。それは夢のような日々でした。彼等はとても親切なうえ思いやりが深く、心から私を歓迎して下さいました。富津祭りとお盆行事に参加して日本文化について多く学びました。

更に私は何かひじょうに価値あるものを習得しました。私の兄弟ジェイミーはほぼ同年令でしたから、私と同じ年の日本人が如何に生き、何を考えるかを知る機会が与えられました。私の結論は私達は数千マイルも隔てられ

ていても、そんなに違わないものだということでした。

富津滞在中、横浜、ディズニーランド、寺院、マザーマンション、一般電器製品工場、平和祈念仏像を訪れるなど楽しいことを多く経験しました。又石井夫人はスキヤキとチキン料理の作り方を手ほどきして下さいました。

日本での滞在は大きな経験でした。日本の習慣、文化、歴史について多く学びました。それに日本語も少し覚えました。日本と日本人がたまらなく好きになってしまっ

たのです。今後も日本に好意的理解を持続するでしょう。日本は心豊かで思いやり深い人々の国です。

終りに、私は横田夫妻、笠島夫妻、石井夫妻とその家族、並びに後援ライオンズクラブに対し、私にして下さった全てのこと、かくも素晴らしい思い出を与えて下さったことに心からお礼を申し上げ度いと思います。カナダに帰国のうえは、この素晴らしい思い出を家族や友人に語り共に懐かしむつもりであります。

I J 6 アレサンドロ・フモ

私の日本での体験は、ひじょうに興味あり素敵なものでした。私の国と異なる日本文化を少しづつ発見していくことは興味をそそる楽しいことでした。訪ねた全ての場所と都市が好きになりました。東京は活気にあふれ人や車で混雑していました。京都は寺院が数多くあって興味深く、日光は自然美と有名な寺院が好きになりました。日本食はひじょうに味わいがあり、どの料理も旨いと思います。

YE派遣学生だより

アメリカ・カリフォルニア州の私の体験

市川東LC 田邊恵里



私は、アメリカのカリフォルニア州へ行きました。出発する前から、不安より期待の方が大きくなり、指おり数えて出発日を待っていました。

アメリカでの派遣生活を終えて

松戸中央LC 廣野真理

アメリカ・ウイスコンシン州での生活が終わりました。長いようで短かった1ヶ月半でした。ずっと楽しみにしていたアメリカ。私のホストファミリーは州都マディソンから車で約2時間のキューバシティに住んでいましたが、酪農家の人がだったので予想通り酪農場やとうもろこし畠ばかりの広々とした所でした。何しろ人口2,000人余りの小さな所でしたから日本から行ったばかりの頃は、人の少なさ、周りに家がないことに慣れず変な気持でした。又、ファームに住むのは初めてだったので、匂い、牛、蠅など、びっくりすることの連続でした。

アメリカでは様々な経験をすることができました。何しろすべてが初めての体験です。誰かがどこかへ行く時は必ず私に声をかけてくれたので（それがただの買い物だったとしても）すべてついて行きました。

大学で勉強したり、ドライブしたり、映画を見に行ったり、結婚式もありました。ホストの息子さんが結婚したのです。American Weddingは日本とは全く違うもので、又、私を家族として扱ってくださったので感激しました。

パーティーでは夜中までダンスをするのです。親戚の人達や近所の人、友人達など多くの人達が出ましたから、それらの人達と話し仲良くなるにはいい機会だったと思

飛行機の疲れも時差ボケもなく、ホストファミリーに会った時は、本当にうれしかったです。私は2つの家庭でお世話になりました。皆さんとても親切で私を大切にしてくれました。私を娘同様いやそれ以上、愛情と細かい心遣いで、少しでもアメリカの生活を体験させようと、ショッピングに、パーティーに、いろいろな計画をして下さいました。

これらのこととは私の良き思い出となり、またこれから国際化社会に向けての良い体験となりました。

最後に、私を派遣して下さったライオンズクラブの皆さんに感謝し、これからもずっとこのプログラムが続いていることを望みます。本当に有難うございました。

っています。

フロリダまで旅行もしました。サウスカロライナに住むことになっている息子さん夫婦に荷物を届けるため車で行ったのです。そしてそのついでにフロリダの親戚をたずね、ディズニーワールドと大西洋を見てこようという計画でした。全部で3,064マイル（約4,900キロメートル）11州にわたる1週間の旅行でしたが、次々と様子の変わる景色は大変美しく楽しいものでした。行く先々で友達もでき、おばさんに「もしフロリダへ、又、来ることがあったら寄っていいのよ」と言われた時はうれしかったです。1週間車を運転し通しだった、ホストのお父さんのタフさにもびっくりしました。

言葉のハンデ、生活習慣の違いにもかかわらず、向こうの生活にはすぐに慣れることができました。が、いろいろ考えさせられることが多くなったようです。特にYesかNoの返事ができないということ。自己主張ができないということ。日本では

「何でもいい」「どっちでもいい」という便利な言葉がありますが、英語では「はい」か「いいえ」のどちらかだけ。瞬間に自分について判断を下し、返事をするのはむずかしいこと



他にみんなニックネームで呼び合うということ。おじさんでも、おばさんでも、先生でも、みんな気軽に声をかけられますからすぐ仲良くなれます。日本のように、「～さん」「～先生」と呼ぶのは固苦しいものなのだろうか……、と考えてしまいました。これはただの習慣の違い、言葉の違いなのでしょうか。気軽に声をかけられるのは大切な事だと思います。その他、自分について、日本について考えなおすことが多く、普段気付かないことまで気付くことができ、アメリカに来なかったら、こんなことはできなかっただろうからいい機会を持つことができたと改めて思いました。

アメリカのいい所、日本のいい所を十分感じることのできた42日間でした。日本にもアメリカにも友達を作ることができました。日本にいる時より、はるかに多くの経験をすることができました。後悔は、もっと英語が話

ミネソタ体験レポート

MN6 吉川 悅子

私にとってのアメリカ・ミネソタ州での6週間はまさに出会いと発見の毎日でした。

私がお世話を始めた家族をはじめ、道ばたや店ではぱつたり出会う人々に至るまで、本当にあたたかく私を受け入れてくれました。上手に話すことのできない私の英語



にも、熱心に耳を傾けてくれました。そして、別れ際には必ず“Have a nice day!”（よい1日を！）と、声をかけてくれるのであります。なんて素敵な言葉でしょう。もう2度と会わないとと思う、ただすれちがうだけの人に対して、こんなあたたかな言葉をさりげなく言ってくれるのであります。

私のステイした家庭は本当の郊外にあり家の目の前に湖がひろがり、野性のリスがとびまわり、水鳥がたわむれて遊ぶ……、そんな環境の中にありました。私はそこで決してフリーの観光旅行では味わうことのできない体験を沢山しました。中でも、まだ夜も明けない真っ暗な湖に小さなボートを浮かべ、アーミー服に身をつんだ姿で忍ぶようにして“水鳥の島”と呼ばれる小さな島に鳥を観察にでかけたことは、私にとって貴重かつ夢のような思い出となりました。

そんな大自然の中で生活する人々は、全くこだわりというものを知らないようです。本当に自分の意志を尊重し、自分に対して飾らず正直に生きているのです。学歴社会・日本において忘れられがちな個人としての表現の場が、アメリカ・ミネソタにおいてはまだ完全なかたち

せていたら、ということのみです。ホストの方達とは2、3年の間にもう一度ここにくると約束しました。つらいこともありましたが、今となってはいい思い出で懐かしいことばかり。英語の力をつけて、絶対に行くつもりです。やり残したな、と思うこともありますから。

このようなすばらしい体験をさせていただき、本当にありがとうございました。私の将来において役立つ方が必ずあると思います。これからはこの体験を生かし、いろんなことに挑戦したいと思っています。



として残されていました。本当に私たちにとって必要なものというのは、テストでとる偏差値の高さではなく、自分を表現できる力であり、その力を養えるだけの精神なんだと私は考えました。

そんな意味で、アメリカに住む人々は、本来あるべき姿でたくましく生きているなあとつくづく思いました。

しかし、それは自分が“日本人”としての目で見ているから余計にそう思えてしまうのかもしれません。アメリカの人にとっては全く意識されていない自然な生き方と言えるのしよう。

私はまた、アメリカ人以外のたくさんの国の人々と出会うことができました。それは、ミネソタに派遣された各国のYE生が一堂に会して行なわれたキャンプだったので。

日本国を含めて17カ国のYE生が寝食をともにし、笑い、遊び、それぞれの国の文化の交換をしました。そして、最後には、みな入り乱れて泣いて別れをおしました。

言葉は、残念ながら日本からのYE生が一番下手でしたし、理解にも苦しみ、自信をなくしかけました。でも、そんな障害までも最後には吹きとばされるほど、みんな心を通じ合わせることができたのです。あんなすばらしい出会いができたことを、私は本当にうれしく思っています。

毎日、毎日が私にとってすべて初体験だったので、6週間も過ぎてしまえばはやかったと思います。でも、この時間で得たものは大きかったと思っています。

アメリカで出会った、さまざまな人々は、私にとってこれからも大きな意味を持つ存在となることでしょう。たくさん思い出を本当にありがとうございました。



私は最高のホームステイをした

松戸中央LC 堀部祐子

初めての海外旅行で少し不安だったが、アメリカの人々はとても親切で暖かく、自分で言うのも変だが、ひとまわり大きくなれたような気がする。

一番苦労した英語だったが、少しずつ耳慣れし、一週間目ぐらいにはだいたい理解できるようになった。最初は正直いうと適当に受け答えしていた。しかし、何事に対しても白黒のはっきりしているアメリカで生活しているうちに、はっきり「わからない」と言えるようになり、それだけでなく、それが何を意味しているのか、堂々と聞けるようにもなった。Yes, Noだけでなく、どんどん自分から話をふくらませたり、好奇心をもってどんどん質問すると、向こうもとても喜んでくれていたようだ。

最後まで、うまくならなかったのが、レストランでのオーダーや買い物だ。お店の人は私が英語をあまり話せないなどということは全く知らないので、かなり早いスピードで話してきて、いつも困っていた。あれにはまいってしまった。でも、さすがにアメリカのハンバーガーはボリュームがあっておいしかった。

アメリカにはいろいろな国の人々が集まっているので、日本人なんてそう珍らしくないだろう、と気にも止めないとしたら、結構目立っていたようだった。在日外国人の方々の気持ちがわかつたような気がする。しかし、アメリカの人々はとてもフレンドリーで、全く知らない同志でも、ニッコリほほえんでくれたり、少しうつかったり、ドアをおさえあげたりしていると、軽く声をかけてくれる。男性も、どんな小さな男の子でも、さりげなく、レディーファーストしてくれた。とても感激してしまった。私もすぐにまねをした。

かなり長いことまねのできなかつたのが冷蔵庫。日本ではヒトの冷蔵庫を勝手にいじるなんて考えられないが、私のアメリカの家にホストの友人が来た時も、どんどんあけて、食べたり飲んだりしている。それを見てから、私も開けることができるようになった。

貴重な体験の一つとして、沢山の友達をつくることができた、ということをあげることができる。セカンドホストに15才の女の子がいて、彼女のたくさんの友達と出会った。スペイン人、アメリカ人、黒人、イタリア人、ギリシャ系の人等、それぞれ髪も目も肌も違う色をしているが、みんな同じ若者同志、とても楽しい日々を彼らと共に過ごした。彼らは沢山の事を私に与えてくれた。私の為に、本当のアメリカを見せてやろう、と、バーベキュー・パーティーをしてくれたり、一緒にディズニーランド、マジック・マウンテン、夜のビーチ、さよならパーティーでは夜のパーティー、そして、さよならパーテ

ィーなど、どれも忘れる事のできない思い出だ。車で黒人街を通った時「黒だ、悪い奴らだ、悪いアメリカだ」と教えてくれた。やはり人種差別は完全にはなくなっていないようだった。

アメリカ人はとにかく陽気で、退屈を嫌う。ちっともじっとせずに、何かいつも発見し楽しんでいる。それはとてもいいことなのだが、困ったことに、待ち合わせの時にもジッとしているのがたった一つの問題なのである。YEの或る友人と、ナツベリーファームで待ち合わせをしていた時も、ジッと待っていてくれなくてこまりはてた。しかし、私が友達の開いてくれた、さよならパーティーで泣いてしまうと、「Don't be sad! Be happy. You can meet your mother. And you can come here again」と一人一人がはげましてくれた。だれ一人として泣いたり、悪い方に考えたりする者はいなかった。

一人一人握手してくれたり、だき合ったりしてくれて、本当につらい別れだった。

アメリカ人は日本人に比べて無邪気なので、子供っぽい所があるが、自立心が旺盛で大人だ。15才になると大人として扱われる。

日本人は少し過保護ぎみである。本当の子供の幸せは、立派な大人に成長することだ。可愛がることだけが愛ではないのだ。

もう一つ学んだことがある。母が以前広島へ行った時に買って来た原爆の資料をホストの女の子のボーイフレンドに見せると、異常な興味を示し、うれしいことだが質問せめにされてしまった。彼に満足に答えることのできなかつた自分が情けなかった。近頃の若者は、戦争に対して関心がなさすぎるのでないだろうか。人事ではない。これから世を背負っていく者として戦争のおそろしさを実感しなければならない。

少なくとも、私と、私の出会った友人達は戦争するとはないだろう。これからも、もっと沢山の日本人が諸外国人と交友を深めるべきであると思う。お互いのことをよく知り合わなければいけない。

まだまだ、日本はよく知られていない。中国のてん足について、とか、毎日着物を着ているのか、など、ちんぶんかんぶんの質問がとびかった。一応真実の日本を伝えることができたのではないかと思う。

とにかく、沢山の事を得て帰ってくることができた。素晴らしいホームステイだった。ホームステイで大切なことは、思いきりのよさと、少し矛盾しているが、自分が日本人だということを忘れること、と、好奇心と度胸である。

私は最高のホームステイをした。決してアメリカの友人を忘れる事はないだろうし、アメリカのすばらしさを堪能してきたつもりだ。



333-C地区 第34回年次大会
333複合地区

1988年5月21日・22日 於木更津市民会館

I got to "American spirit"

柏LC 吉田 功

僕はオハイオ州のコロンバス空港に降り、ホストファミリーに迎えられた時の感触を忘れることができません。頼る人は一人も居ず、これから先のことを考えると不安と期待で胸がドキドキしました。

滞在三日目にニューヨーク州のGrandparentの家に二日もかけて行って来ましたが、この時初めて、アメリカのスケールの大きさが分かりました。

僕はスマイルをなるべく心掛けていたので、道で全然知らない人にも気軽にHiとあいさつできました。それにホストファミリーには僕と同じ歳の17才の男の子もいたので友達の輪はいっそうひろがったわけです。みんな気をつかってとてもわかりやすい英語で話してくれたり、僕も積極的に質問したりおしゃべりなどして、気分はもうすっかりアメリカ人でした。最初の夜は家には泊まらずキャンプ場のキャンピングカーで寝ましたが、



フロリダでの40日

柏中央LC 佐藤 真利



私は、アメリカのフロリダ州の方へ行きました。ステイ先では、いっしょに大阪の人と、そして3週間してから、静岡の人 が来て、

あわせて3人でお世話になりました。私のホストファザーは、行きたい時に会社に行けばいいという人だったので、近所に来ていた日本人の派遣生といっしょに、プールや海に連れて行ってもらいました。その他に、マイア

ミ周辺に滞在していたみんなと、動物園やキーウェストなどに行ってきました。ホストの家の子供はもう大人で、いっしょに住んでいなかったのが残念でしたが、ホストファザーも、ホストマザーもどちらもやさしかったし、ジョークが大好きな人達だったので、40日間楽しく過ごせました。それに日本人の人といっしょに暮らしていたので、ホーム・シックにもからなかったです。40日間

が、ものすごくはやく感じられました。アメリカの生活に接することができ、私にとって良い経験でした。行ってよかったと思っています。



族で、特にリーナは大変な親日家であり、6才から柔道を始め、その腕前は州の上位に名があるほどで、「来年は自分も派遣学生として日本へ行きたい」と話してくれました。

丁度、2店目が開店することもあって多忙であったにもかかわらず、約2週間の滞在期間中、ブリスベンを案内してくれたり、島にキャンプに行ったり、本当に親身になって面倒を見ていただき

オーストラリアに滞在して

船橋LC 村山 晴男

ステイ先が、ブリスベン近くのTOOBOOMBAと、あの世界的に有名な、リゾート地ゴールドコーストに位置するTWEED HEADSの2か所であると決定したのが、出発(7/29)の約1週間前でした。オーストラリアは世界で最も好きな国の一つでもありましたし、近頃ではTVなどで盛んにその素晴らしい国柄が放映され、出発前からオーストラリアでの新生活に胸をふくらませていました。

First FamilyはTOOBOOMBAで園芸を経営している、ジーラー夫妻、そして、16才になるリーナの3人家





ました。

Second Familyは、ヘイワード夫妻、そして、15才のカレン、12才のジュディ、9才のティモシーの5人家族で、他に犬が2匹、猫が2匹、鳥が1羽と大変動物好きの一家でした。彼らが今一番力を注いでいるもので、自分も大変樂しみにしていた事は、子供達がそれぞれ馬術用の馬を所有しているという事でした。大事な試合が近かったため馬に乗る機会こそ少なかったものの、日本では決して味わう

交換学生を終えて

船橋LC IN14 下川 太郎

他の国にまだ行ったことのなかった私にとって、外国の地に着いたときの感想は、不安の一言だった。シカゴで一泊すると聞いていたが、空港には第1ホストの人たちが迎えに来ていたので心の準備をしていなかった私は非常に動揺した。でも第1ホストの奥さんの両親の家にも一人女人をあずかるので、家まで車はいっしょだった。また、家も100mぐらい離れたところにあり、とても近く、その女の人が英語がす



アメリカの家庭でくらして

船橋中央LC 豊田 和久

日本人には日本人の、アメリカ人にはアメリカ人の、それぞれに特有の文化、考え方があるというのは誰もが知っている事ですが、今回、1ヶ月間アメリカの家族と共に生活するという事で、様々な事を感じてきました。



日本人は親類一同が会するといえば正月と盆というのが一般的ですが、アメリカには、ユニオン、というしきたりがあり、親類が集まり、一緒に食事をするなどして親睦を深め合います。今回は好運にも、お世話になった家庭のユニオンに招待していただきました。アメリカ人は人との付き合いを大切にします。それは義理ではなく、極く自然なものであり、家族間でも同じことで、日頃の生活の中からさりげなく子に教えていました。アメリカ人がユニオンを催したり、親類の写真を大切にし、部屋に

ことのできない貴重な体験でした。

又、ワينズラント州は一年中海水浴のできる州でもあります。当然のことながら、ゴールドコーストでも1、2の美しさを誇るといわれる“COOLANGATTA”ビーチで日光浴したり、泳いだりもしました。

本当に辛かったけれど、素晴らしい場所に、そして素敵なHost Familyに恵まれ、楽しい思い出ばかり残りました。自分の語学力のなさには本当に思い知られましたが、もっともっと英語を勉強し、必ず又、オーストラリアに行って、お世話になったHost Familyに、そして、現地のライオンズクラブのメンバーの方々にお礼をいいたいと思います。

ごく話せる人だったのでとても助かりました。第1ホストの両親は、二人とも働いていたのではなく



どこにも連れて行ってもらえないかった。

第2ホストでは、いろいろなところへ連れて行ってもらい、またダブルホストだったのでとても楽しかった。もう一人の子も私と同じくらいの英語力だったので頼れないので助け合った。それが非常によく、だいぶ話せるようになった。

かぎって、人にその話を聞かせたりするのはその象徴で、食事の時には家族が集まり、そこで様々な会話がなされ、親は子の理解につとめます。

アメリカ人は、仕事と家庭は別のものと考え、会社と自分はあくまで契約しているだけであり、仕事にしばられないようにしています。よって家庭に仕事は持ちこまず、仕事から帰るとそこから夫婦や家族と出かけます。そこでも親子のつながりを大切にしているという事が窺えます。

また余談になりますが、多くのアメリカ人は愛国心を持っています。アメリカの歴史を日本人が日本の歴史を知っている以上に良く知っており、アメリカはおもしろい国で、それら歴史的な物が、多くそのまま残っています。またそれを熱心に話してくれるのです。

今回はその二点が日本人とアメリカ人の大きな違いだと思います。



レオ・ライオネス



私の歩みと抱負

鴨川ライオネスクラブは、2月22日結成式を致したばかりの誕生間もない会でございます。

鴨川ライオンズクラブでは、7年程前よりクラブの例会に家族の者が招かれ、家族例会の形で年に数会、私達は参加させてもらっていました。また京都鴨川ライオンズクラブの年次大会にも、家族としてお招きを受け参加させて戴いた事も何回かございます。その度毎に家族の者達は親密の度を深め、楽しかった思い出がいっぱいになりました。その事がこの度のライオネスクラブ創設の大きな誘因になっていると信じます。そしてこの度鴨川ライオネスクラブは親クラブの御発案と、館山ライオネスクラブのお力ぞえにより親クラブ御指導のもとに何回かの準備委員会をもち、鴨川ライオネスクラブの誕生へとこぎつけたわけでございます。

そして5月17日に鴨川グランドホテルに於きまして認証状伝達の式典が催されました。333-C地区第8番目のクラブとして会員30名で発足致しました。

ガバナーL平井勇様を始め御来賓の方々及びライオンズクラブの関係者の方々の御出席に加えて、20年来の姉妹提携クラブである京都鴨川ライオンズクラブ及び京都鴨川ライオネスクラブの方々の御出席も賜わりました。

私共はあのローマ字で小さく書かれた認証状の自分の名前をみつけ、涙する程の感激を受けました。このようにして認証状の伝達も受け、会員一同は心を新たにし、奉仕活動を継続する事の大切さを十分かみしめております。

私も昨年は新聞雑誌を読むにつけ、色々と旅する先で見聞する色々な出来事を知るにつけ、ライオンズクラブと関連させて考えるようになり、世の中の総ての事についての日のつけ所が変って参りました。

只今では親クラブの御指導により、クラブの活動も少

鴨川LSC会長 L.S. 関 澄江

しづつ軌道に乗って来たように思いますが、何しろライオネスの初めての役職でありますので、ライオンズ用語の勉強から始めております。私は、理事会（毎月第4日曜日2時より3時まで、会長宅で）委員会（その都度理事招集）を計画的に開いて、会員全員参加によるクラブ活動を、と考えております。

鴨川グランドホテルの8階、碧い海、緑の松を眼下にするすばらしい広間が、私達の例会場です。そこで打つゴングのひびきもやっと力強くきこえるようになると共に、会の内容も深いものになって参りました。

私共30名は友愛と奉仕の心を心情に先輩の皆様方の会のように、笑いの絶えない温かい会に育つ事を念願と致しております。

なお今年度の会長方針と致しまして、

1. 話し合いによる明るいクラブ作りをする。
2. 退会防止につとめ会員の増強をはかる。
3. 委員会活動を意欲的に行い計画実行する。
4. 婦人の持つ特性を生かし、社会奉仕活動を行う。

私の信条と致しまして、

- ネスクラブ鴨川丸の旗あげて愛と奉仕を乗せてこぎだせ。
- ライオネスこのぬくき心のひろごりを包みてゆかん支えられつつ。
- 親とネス心一つに例会を、お客様じえて和気藹々。
(6リジョンデピュティーガバナー 2ゾーンゾーン
チャーマン 京都鴨川ライオンズクラブの皆様を迎えての親クラブとの合同例会の席にて)
- ネスクラブ 愛と奉仕を信条に 親ライオンに 歩みあわせて
- ガバナーより ネスの認証状を吾うくる 横文字なれど 意深くくむ

献血及びレオ夏期研修に思う

君津中央ライオネスクラブ 幹事L.S. 加藤 喜美子

今年の夏はいつになく、連日厳しい暑さが続いている中、君津中央ライオネスクラブの継続アクトとして、7月8日に献血のお手伝いをさせて頂きました。クラブ員の方達と甲斐甲斐しくエプロン姿で奔走し、一人でも多くの方達が協力して下さる事を望みながら、一生懸命接待し、ライオンズ、ネスクラブ員の方達も率先して献血に協力しました。又献血に来て下さった方達の中には、女性でありながら400ccも提供して下さった方もおり、本当に感謝して居ります。今回小糸公民館で献血運動を呼びかけた際には、75名もの方達が協力して下さいましたが、来年度2月に予定のこの運動に、一人でも多くの方達に協力して頂きたいと祈っています。



おります。小さな心づかいが大切な命を救う事が出来る尊さを実際呼びかける側にたった時、この運動に参加させて頂きました。来年度も身近な方達に協力を呼びかけようと思いつつ日赤バスを見送りました。

次に清和キャンプ村で行われましたレオクラブ夏期研修会に於て、8月18日に子供達の夕食のお手伝いを致しました。木立の中、茸を形どったロッジでは、すがすがしい風と山梨県の清里を思わせる自然の美しさには驚くばかりでした。レオの男子達は薪割とご飲炊き、女子達はカレー作りとそれぞれ頑張って、人参・じゃがいも・玉ねぎのむき方切り方作り方をクラブ員の方に教わりながら一生懸命です。飯盒炊飯の時など、両側をカマドに囲まれ生木で燃えが悪かったせいか、煙が目にしみて泣きながら奮闘している様子は、とても微笑ましい光景でした。素直で明るく清々とした姿で参加しているレオの子供達と共に楽しい一日を過ごすことが出来ました。又

レオの子供達からネスクラブ員に感謝のこもったお礼の言葉を頂きながらの屋外の食事は、何よりのご馳走でした。ライオンズの皆様がこれまでに準備を運ばれたご苦労は大変な事だったと思います。「ご苦労様でした」の



言葉と共にとても有意義な一日を過ごすことが出来ました事に感謝の気持で一杯です。

入会して4年に成りますが、今までただ漠然と過ごして来た中、突然幹事という大役を頂き、戸惑う事ばかりですが、幸い良き先輩の皆様や中山会長から事細やかに心温まるアドバイスを頂き、いつしか「あまり先の事ばかり考えず身近な事から考えよう」と思える様になり、出来る範囲で幹事を努めさせて頂こうと思っております。気持を新鮮に保ち、奉仕を喜びにすることこそ、最高最



大の幸福と思い何分にも未熟な私ですが、残す任期を精一杯私なりに奉仕活動に精進するつもりで居ります。本年度手塚がバナーのスローガン『愛と奉仕で平和な世界、そして物ではなく温かい心』を頭におきながら……。

私達の継続アクティビティー

けたたましい音に、慌てて目覚し時計をとめる。時は午前4時半…せめてもう10分位などと弱気になるのをふりはらい、軍手とビニール袋を手に、もうろうと家を出る。

人通りもない街のあちこちからメンバーが、バイクで、自転車で元気に集まってくる。クラブ結成以来の継続アクトである、館山駅前ロータリーの草取り作業も今年で9年目である。朝に強いメンバーの提案で、去年からは暑い日差しと海水浴客の雑踏を避けて、7、8、9月は5時に始めることになったのである。

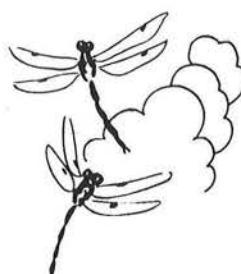
その長年の功績が認められたのか、この度、親クラブより全員に草色のTシャツのプレゼントがあり、杉山ライオネスの好意で胸にLのマークも入り、一そうアクトに張り切らざるを得ないことになった。心せわしい暮、雲まじりの雪がちらつく日、又全員が毛虫に刺され、ガバナー公式訪問の席上、むずむずする痒さを必死でこらえたこともあったっけ……。ふりかえると、よく続いた



ものと、皆の協力に今更に頭の下がる思いである。

又、もうひとつの継続アクト「ひかりの子学園」のバザーに出品する作品づくりや、古切手整理など、皆で、クラブのこと、社会情勢や、家庭の出来事などを話し合いながら、和やかに行ってきた。これからも、ささやかな奉仕だけれども、メンバーが家庭を守り、家業を助けながら、いつまでも元気で続けたいと願っている。

館山LSC ACT委員長 LS松尾千恵子



ライオン紹介

ひたむきな人生!!

その足跡をたずねて

広くライオンズの中には、透徹した趣味・文化・工芸の進展、又その伝承に尽すいされているメンバーが多くあると思います。何れも多年にわたる汗の結晶であり、そのひたむきな努力とご貢献に敬意を捧げる次第です。

その成果をご紹介いたします。

「お若いの、お待ちなせえ……」白井権八を呼び止めた侠客幡隨院長兵衛「さすがあ親分、銚子ちぢみを着流して……」と講談にもうたわれたように、親分は銚子ちぢみを愛用したと伝えられています。又江戸藏前の札差は競って銚子ちぢみを着用したといわれています。

はやり糸銚子ちぢみを着てお酌、江戸雑俳にもよまれたように江戸時代には通人粹人に愛用されていたようです。

戦後、父・真次郎が商用で九州に遊んだ時、別府の旅館のおかみ

から、銚子
ちぢみをほ
められねだ
られました。
帰銚した父
は早速くま
なく聞き調
べて回りま
した。そし
て銚子のま
ちに魚と醤
油と肩を※



素敵な銚子ちぢみ
香山美子さん

※並べ利根川を
さかのぼり、江
戸より全国各地
に愛用されてい
た事実を知った
のです。

しかし、それ
は既に大正末期
には織られない
幻の織物となっ
てしまっていた
のです。私達の
祖先が苦労して
成し得た大きな業績、遺産、「このままにしてはいけない、申し訳ない」と思ったのです。

私の父はよく、「笑っている幽霊を見たのは俺くらいのもの」と言って居りました。私の父は小さい時、40kmも離れた某市の大店の御陰居様のお宅に丁稚に行きました。うす暗い大きなお部屋にひとりぼっちで置かれた御陰居に誰も面倒を見てあげられない、恍惚の老母は、お稻荷さんの信者でしたので「お狐様がおいでになった」とか「そこにお狐様の糞があるから……」とかあらぬ事を言われるので気味悪くて誰もお仕え出来なかったそうです。父も又、子供心に怖くてもベソをかきながら最後までお仕えお送りしたのだそうです。

うら盆の晩、外へ小便に出た父の見たものは、月の光を背にしてニコニコ笑っている御陰居さんの姿だったそうです。又父は18才の時親父を亡くしたのですが、前日しきりに魚が喰いたいと言い出し、シケ続きの毎日で父の兄は対岸の波崎の地曳網をたよりに川向うへ渡ったのですが、いつまでも帰ってこない。待ちわび途方にくれた父は、川べりを行ったり来たりしていたところ、すぐ浅瀬に大きな魚が背びれをヒラヒラさせながら泳いでいる。「ナム」とばかりにつかまえた時の嬉しさは生涯忘れられないと言っていました。

中国の二十四孝ではないが、「天が孝を感じて大魚を

県指定無形文化財

銚子LC

L常世田 耕作

地区LEO、LS委員

賜った」を掛軸にして今も宝物として床の間に飾っています。人相の悪い若者が裾まくりで大きな魚をしっかりと引きしめているのですが、何故か、銚子ちぢみの紋絣に似ているのも何かの因縁でしょうか。

晩年、父は丁稚の時の主家が整理をなさった時に、一生一度の道楽と全私財をなげうった事をおぼえて居ります。しかし、時々どなともなく父の墓参において下さる方があると聞いて、有難いことだと感謝致しております。

そんな父でしたので「このままにしてはおけない、先祖様の御苦労に申し訳ない、銚子ちぢみを復興させなければならない」と決心したそうです。

銚子ちぢみは横糸に右撚り、左撚り、それぞれに撚りに撚った、撚り切れる限界までに撚った強撚糸を交互に織り込みます。織り上った布は湯につけ揉むと撚がもとに戻ろうとする力でお互いの糸を引っ張り合い、布の表面に小さな凸凹を作り、これで独特の肌ざわりの銚子ちぢみが出来るのです。

布巾も
三分に縮
まりま
すので
その分
巾を※
※広く
織りま
す。で
すから
洗濯を
ザブザ
ブして
も着物
の中以

下には縮まりません。この、どこにも負けない独特的の肌ざわりを出す本格的な手法、馬鹿ばかしい程の織りづらさ、ガリガリした横糸を交互に打ち込む技法は修練を要し、妥協を許しません。現代機業の企業として成立つかの工法で敢えて織り上げるのです。

昔は手つむぎ太番手でしたのでずい分厚手の着物でした。しかし、これから着物として細番手使いでなくてはならない。

生き残っていた最後の機屋（はたや）のじいさんは、私の父に負けず劣らずの頑固者で試作を見せるのにもニコリともしないで「こんなものは銚子ちぢみではないよ」と言わんばかりの連続でした。

如何に細糸に強撚りをかけ昔のシボ味を出すか、色々と試みを繰り返しました。在来の撚り糸は勿論、絹、人絹用も試みましたが結局は駄目、遂にちぢみ撚り専門の撚糸機の製作、これより他にないと特注しました。おかげでどこも真似出来ない細糸の超強撚糸がつくれるようになりました。これも県行政が国庫補助を引き出してくれた大きな功績と、忘れるることは出来ないと思っています。



次代の伝承者・息子と

私は、銚子ちぢみの繁栄の過去を誇っています。それは王朝の御用達でも租税の為の奨励でもなく、又冬閉じ込められて機仕事しか出来ない土地でもない、それは夫や子弟の出漁の合間にセッセと織ったであろうこと、又突っ外れの地より全国に売り広められた事実で、大衆に興り大衆にて繁栄したのですが、政治の良心、ご援助も見逃してはすまないことだと思っています。現在無形文化財として県指定、更に千葉県伝統工芸品として第一次知事指定をいただき、何かあると自慢に又御援助下さっております。

しかしながら、現在年々低落する着物需要に、現代に生きるちぢみ作りの暗中模索は今も続いております。各種物産展、見本市等の催事には参加させていただき、ご観覧の皆様にご理解とご指導をいただき、又工場見学希望者等積極的にお誘い致し、「こんなもの、あんなもの」等需要のご提案を頂いております。

某デパート催事の時、中年の婦人が小さな包をお持ちになり「宝物のように着ています」と見せてくれました。20年前のエビ色の乱縞、それと友人のお話、親御さ



伝統工芸展 会場風景

んの愛用で棺の中に入れてあげた藍細縞の男もの、あの世までのお供、しみじみ嬉しく有難く涙の出るほどの感激をおぼえました。又先日は、ある和尚より、死んだ親父に会ったような着物、と、へんなほめ方をされ嬉しく戸惑った思い出があります。

銚子ちぢみの特長は、江戸時代からの伝承が生きて

ます。そして現在、ハンカチ・ネクタイ・袋物・帽子等々の小物・肌着として最適な洋装化もはかって行きたいと思って居ります。又本命の着物の新分野・新需要にも全力を尽くさねばならず、まだまだ暗中模索の日々が続



そごう物産展 実演する息子氏

いています。そして次代を引き継ぐ息子が又々伝承の因縁を受け継ぐべくして居ります。

残さねばならぬ、やらねばならぬ、命あるうちに継げるだけのものを、と悲願の毎日です。

小さな一伝承織物の銚子ちぢみ、これも又私の悲願、泣き笑いの人生、感激と幻滅、失意と得心の人生。これも又楽しからずや、とひらき直っている現在です。

(L常世田耕作記)



伝統工芸展に藍染実演のL常世田

複合地区だより

●複合地区ガバナー協議会臨時会議 9月14日 於精養軒 午前11時より開催し、次の事項を決議した。

1. L相沢春吉（A地区新潟クラブ）を国際理事候補者に推す会を発足する。午後2時解散

（説明）去る8月18日に行われた第3回国際理事候補者推進委員会において、A地区前ガバナーL相沢春吉を推せんすることに決定、この会を解散したので新たに実施段階に入り、標記の会を結成し、この推進をすることになった。

●第2回ガバナー協議会 11月13日 於精養軒

13:00より開催され、次の通りの議長提出議案が決議された。

1. 第34回複合地区年次大会について
 - (イ)議事規則（例年と同じ）が承認され、委員会および分科会は次の通り決定す。
 - (1)資格審査委員会 (2)議事運営委員会 (3)国際理事立候補者推薦手続委員会
 - (4)決議委員（但し議長は決議委員会を次の分科会に分けることができる）

A.会則・政策・会員・EXT・経理分科会

B. P R ・情報分科会

C.長期計画・リサーチ・指導力開発分科会

D. Y E ・ L C I F ・国際協調分科会

E. レオ・ライオネス分科会

F. 献眼推進・薬害糖尿病教育分科会

(ロ)年次大会組織表を原案通り可決（別表の通り）

(ハ)年次大会構成表を原案通り可決（表省略）

(ニ)年次大会予算案を原案通り可決（予算書省略）

(ホ)同大会テーマを「We Serve」と決定

(ヘ)同大会日程は次の通り決定

・代議会 9:30~9:50（前段）

・委員会並びに分科会 10:00~11:15

・代議会（再会）11:30~12:00（プログラム省略）

(ト)同大会登録料は次の通り決定

(1)大会登録料 3,000円 (2)前夜祭登録料 7,000円

(参考) 年次大会で次のLしが国際理事候補者として推せんされる予定

1988~90年度日本選出国際理事候補者

L 永野陸夫 (332-C古川クラブ) (大10生)
L 岡本大三 (336-A徳島眉山クラブ) (大8生)
1989~91年度日本選出国際理事候補者
L 相沢春吉 (333-A新潟セントラルクラブ)

敬 用

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

3 3 3-C地区年次大会構成表

333-C地区年次大会会長（議長） L 手塚 勇

編集後記

▶第2号はガバナー公式訪問とYEのレポートが主になりました。▶秋たけなわ、アクティビティーも正に最盛期。やがてデスクにレポートや写真が山と積まれるでしょう。▶早やばやと10・8Act.の記録を送って下さったRもあります。7R一括掲載のため、身を切る思いで、次号に譲りました。▶お願いごと2つ。そのひとつは、25字×15行、横書原稿用紙を必ず使ってください。その2は、写真には「解説」をつけて、編集子にわかるようにしてください。▶「銚子ちぢみ」の無形文化財L常世田耕作の玉稿深謝。皆様のご高覧の程を切望いたします。(茂)

| | |
|---------|-------|
| PR情報委員長 | 茂田 正巳 |
| PR情報委員 | 岡田 瑞男 |
| PR情報委員 | 渡辺 俊介 |
| PR情報委員 | 井岡 秀雄 |
| PR情報委員 | 嶋田 慈雄 |
| PR情報委員 | 小松智喜 |
| PR情報委員 | 西村 一祐 |
| PR情報委員 | 安井 豊 |
| PR情報委員 | 木村 満治 |
| 編集委員長 | 平野 正巳 |
| 編集委員 | 斎藤 瑞男 |
| 編集委員 | 藤井 俊介 |



茂原 L.C., 故 L. 豊田 博志
(10月8日)

1987年（昭和62年）11月12日 印刷
1987年（昭和62年）11月15日 発行
発行所 千葉市問屋町1の55 シーオービル6F
ライオンズ国際協会333-C地区
キャビネット事務局
印刷所 木更津市潮見4の15の1
(株)木更津日報社
電話 0438-36-2277